

放課後等児童デイサービス 自己点検評価書

(株)がくどう舎

放課後等デイサービス木子里テラス

[様式 11] 自己点検評価書

① 事業の目的、運営方針・理念

【事業の目的】

・就学児を対象とし、放課後や学校休業日に、生活能力の向上のために必要な支援を行います。保護者の願いを受けとめ、関係諸機関との連携を大切にし、子どもたちの自立を促進します。

【運営方針・理念】

- ・障害をもつ子どもたちとその家族を支援し、地域を大切にしながら身近な療育の場にしていきます。
- ・あそびと生活を通して、障害をもつ子どもたちの自立を促進し、誰もが笑顔で暮らせる社会をつくりまします。
- ・子どもたちの健やかな成長・発達のために、関係諸機関との連携を大切にしていきます。

② 沿革と現況等

【沿革】

2011年 5月 (株) がくどう舎設立 木育プログラムの作成
木育デイキャンプの実施

2013年 3月 放課後等デイサービス木子里 開設

2013年10月 放課後等デイサービス木子里テラス 開設

2014年 8月 放課後等デイサービス木子里コパン 開設

2015年 1月 相談支援事業所 木子里ハート 開設

2015年 4月 民間学童保育KIRACCO 開設

2016年 4月 KIRACCO 所沢市児童クラブの委託事業になる

子どもたちの健やかな成長と家族の幸せを支援することを目的とし、3事業（5事業所）を展開してきました。地域における経営陣のネットワークが広く、官民間わすの連携が当法人の強みです。社会から期待されるもの、利用者から求められるものは多様で、専門性の向上が各施設共通の課題です。

【現況】

i) 施設名

放課後等デイサービス木子里テラス

ii) 所在地

埼玉県所沢市山口5277-2

iii) 利用児童生徒数、職員数

利用児童生徒数 (31) 人

職員数 常勤(4)人 非常勤(6)人

【運営規程】

設置者・管理者向けガイドラインに示される運営規程を定めているか。

定めている 定めていない (いずれかにすること)

【放課後デイサービス計画】

児童発達支援管理責任者向けガイドラインに示される放課後デイサービス計画を作成しているか。

立てている 立てていない (いずれかにすること)

【児童発達支援管理責任者】

氏名 (房田志保)

専門性に関する記述 (50文字程度で)

東京都公立小学校特別支援学級教諭 (担任) の実務経験 (12年)

③JDDnet が定める基準に基づく自己評価

基準 1 環境・体制整備

1-1 利用定員が発達障害の指導訓練室等スペースの関係で適切であるか

(1) 1-1 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由 (満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載)

埼玉県は、指導訓練室の基準を24.7㎡以上としています。当施設は、31.88㎡の広さを確保し基準を十分満たしています。たたみの部屋では落ち着いたあそびを、ホールでは動きのある遊びやグループワークを展開しています。個別対応の際は、相談室やカーテン、パーティションを活用しています。加えて、庭では農園芸にとりくみ、夏には大型プールを設置しています。

1-2 発達障害に関して専門的知見を持った職員の配置及び配置数は適切であるか

(1) 1-2 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由 (満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載)

埼玉県は、職員の配置の基準を児童発達管理責任者1人(常勤)に加え指導員または保育士が2人以上としています。当施設では、児童発達管理責任者1人に加え常時6人以上の職員を配置し、児童指導員加配加算の届け出をしています。職員の中には保育士や教員免許取得者もあり、常勤4人のうち3人が児童福祉分野や教育分野での実務経験が10年以上の経験豊富な有資格者です。非常勤職員の中にも、児童発達管理責任者の研修を受講済みの職員がいます。

1-3 事業所の設備等において、発達障害への配慮が適切になされているか

(1) 1-3 の自己判定

十分満たしている 満たしている 満たしている 満たしていない

(2) その理由 (満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載)

毎日利用している子どもたちの編成が違います。子どもたちの身辺自立の妨げとなる混乱を避ける為に、子ども用傘立ての設置、下駄箱やロッカーに手づくりの名札を付ける

工夫をしています。いつも同じ場所に自分の名札がはられていることで、戸惑うことなく持ち物の管理が行いやすくなり、所属感や愛着も生まれます。トイレは1階と2階に1室ずつ、合計2室あります。使用についてはルール化しています。基本的に1階のトイレを使用しています。複数利用希望がある場合には、順番に並んで使用します。2階のトイレについては緊急性が高い場合のみ使用しています。誰がトイレに入っているか、誰が手を洗っているかを職員が把握するようにしています。

1-4 発達障害に配慮した環境調整が行われているか

(1) 1-4の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

日課や送迎車（乗り込み位置がわかるもの）をボードで掲示することで、見通しをもって過ごすことができます。遊具や文房具の置き場を明記することで、子どもたちの自発的なあそびの幅が広がりました。日課や出席、配車予定をボードで掲示し、はじめの会とかえりの会で確認しています。変更内容を伝える時にも利用しています。日課ボードだけでは不足している場合には、活動内容や手順を大書きにして掲示しています。送迎車ボードとボーリングあそび用の床のラインは、かえりの会の整列のためにも活用しています。

【基準1の自己評価と改善・向上方法（将来計画）】

毎日、非常勤を含め1時間程度打合せと保育の準備をしています。保育終了後には職員間の振り返りや個人記録記入の時間を確保しています。個別支援計画作成会議や個人記録・保育の記録を通して職員の力量をあげていきたいと思えます。個人記録については、発達の視点で書くことについて学習の機会を設けます。発達障害の理解と関わりに関する研修会と事例検討会を定期的開催していきます。環境調整については、遊具の置き場や表示やボードの色分けなど、まだ工夫できる部分が多くあります。職員が高い意識を持ち、自由に意見を出し合えるチームづくりを目指しています。

基準2 業務改善

2-1 業務改善を図るためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか

(1) 2-1の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

保育のとりくみ方（SPDCA）や姿勢についての研修会を当法人が運営する放課後等デイサービス3施設合同で行っています。非常勤職員にも参加してもらい、各施設の実践について交流しています。年間計画と月案を基に常勤職員が中心になり計画を立て、非常勤職員を含めた毎日の打ち合わせの中で目的とねらいを共有し、意見を出し合い反映させています。PDCA以前のS（=See）を大切にしています。

2-2 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか

(1) 2-2 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

2016年5月に初めての外部評価アンケートを実施しました。3施設合同でお互いの分析・評価し、課題共有をしました。当施設については、回収率が72.4パーセント、その内「はい」の回答率は79.1パーセントでした。自由記述欄を設けたところ、保護者の思いや期待されている内容を把握することができました。結果については、非常勤職員を含め全職員で共有し、外あそびの充実、連絡帳の充実、とりくみの充実、スタッフ紹介など、優先順位をつけてとりくんでいます。

2-3「厚労省ガイドライン」による自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか

(1) 2-3 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

自己評価の結果をHP上と保護者に向けて書面にて公開しています。5月に実施した外部評価アンケートの結果も合わせて公開しています。

2-4 職員の資質の向上を行うために、発達障害に関する研修の機会を確保しているか

(1) 2-4 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由

昨年度、公民館の会議室等を使用し、非常勤職員を含めた3施設の全職員を対象に、発達障害の理解をテーマに施設内研修を行いました。年間を通して、外部講師を招いて4回開催しています。常勤職員は選択制で埼玉県や所沢市が主催する行政研修や児童発達支援センターなど他団体主催の研修会に多数参加しています。参加については勤務とみなし、参加した職員は研修報告書を作成し、学んだことを他の職員に伝える機会を設けています。昨年度、木子里グループが主催した研修のうち2回は所沢市自立支援協議会のネットワークを通して開催告知をし、行政担当課職員、近隣の放課後等デイサービス職員、児童発達支援センターの職員のみなさんと一緒に学ぶ場を提供しました。

【基準2の自己評価と改善・向上方法（将来計画）】

日々の振り返りで職員から出た意見や、記録の分析から浮上する課題について、優先順位をつけて問題解決に向けて検討しています。施設内研修、施設外研修ともに埼玉県の監査時には充実していると評価していただいています。学ばなければならないことは多岐にわたっているので常勤職員の評価にもつながるよう、体系化した研修計画を作成していきます。

自己評価と外部評価アンケートを客観的に分析し、保護者の願いを受けとめ、課題を改善していくことで保育の質の向上を目指します。

基準 3 適切な支援の提供

3-1 発達障害のアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか

(1) 3-1 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

経験年数の長い非常勤職員を含めた複数の職員が参加して個別支援計画作成会議を行っています。個人記録ノートや学校からの情報も合わせて計画に反映させています。当施設内に併設している相談支援事業所「木子里ハート」（管理者は木子里テラスと同じ）と連携することで、より子どもたちの生活に寄り添った計画を作成することができています。個別支援計画の作成後、内容説明を兼ねた保護者面談（任意）を年2回実施しています。面談シートを作成し、面談時の保護者からの要望を反映させ加筆、修正を行うこともあります。

3-2 子どもの状態を把握するために、発達障害のアセスメントツールなどを使用しているか

(1) 3-2 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

利用開始時の保護者面談で、子どもたちの健やかな成長のために学校・医療などの関係機関との連携が不可欠であることをお伝えしています。診断名や服薬、アレルギーなどの基本情報や療育歴を記入していただく個人票に加え、ご家庭で保管されている医療機関で実施した発達診断結果等の写しを提出していただいています。施設内で職員が実施できるツールとして、所沢特別支援学校が使用している太田ステージの導入を検討しています。

3-3 発達障害の活動プログラムの立案をチームで行っているか

(1) 3-3 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

日々の活動については、常勤職員が作成した日案をベースに、非常勤職員を含めた全職員で詳細について意見を出し合って決めています。木育プログラムやデイキャンプなど、大きなとりくみについては、実踏（事前、直前の最低2回以上）と打ち合わせを専門家や放課後児童クラブの職員と連携し、3施設合同で行っています。

3-4 発達障害の活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか

(1) 3-4 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

活動方針にそった年間計画・月案を作成しています。日常的な活動については、経験の

ある職員が助言をしながら全職員で話し合い工夫しています。繰り返しの中で力をつけ自信を育てることも大切です。木育プログラムのように、一つの活動が次の活動につながるよう応用発展させています。活動内容を保護者と共有し、家庭と連携して子どもたちを励ましてもらうなど、活動に対して達成感をもてるようにしています。中学生プログラムでは、余暇支援以上のねらいをもってとりくんでいます。自分たちで活動内容を話し合っ決めて決める場も設けています。より自発的に、責任と意欲をもって参加できるよう工夫しています。

3-5 平日、休日、長期休暇に応じて、発達障害の課題をきめ細やかに設定して支援しているか

(1) 3-5 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

平日は、日課を理解し、スムーズに集団生活を送れることを大切にしています。日常生活動作、あそびのルールやなかまとのやりとりが指導の中心になります。長期休業中は、放課後ではとりくめない遠方へのお出かけやデイキャンプを実施し、施設外で集団行動する際のルールやマナーを学ぶ機会を増やしています。時間をかけてじっくり関わる造形や、そうじ、お昼づくり、お皿洗いなどの生活の中の仕事にもとりくんでいます。自由あそびの時間も長いので、自己決定の場面を増やし、複数の子どもたちが参加できる集団あそびの提供を心がけています。いずれも、子どもたちの「楽しい」を土台にしています。

3-6 子どもの発達障害の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか

(1) 3-6 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

活動は目的とねらいをもってとりくんでいます。グループワークが中心になりますが、一人ひとりの課題にも寄り添えるよう配慮しています。グループワークは、事前の打ち合わせで個別対応の担当職員を決め、個々のサポートを並行して行っています。一人ひとりの力に合せてすすめ、助け合い、分かち合いなど社会性が育つ場面では一緒に参加できるように促しています。子どもたちが無理なく楽しくとりくみ、やりきることが大切です。課題設定は、子どもたち一人ひとりについてあらゆることを予測し決めていきます。気がついた配慮点は、次の活動に活かし、支援の手立てとして個別支援計画に取り入れています。

3-7 発達障害の支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか

(1) 3-7 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

日案を作成し、打ち合わせ時に内容を確認しています。非常勤職員を含めて、出席、体制、送迎などの基本情報を確認したあと、保育活動の目的とねらいを共有し、質問や意

見交換を行っています。教材準備、活動ごとのリーダー、個別対応の担当決めなど、役割分担について確認をしています。

3-8 発達障害の支援終了後には、職員間で必ず打合せをするなど、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点などの情報を共有しているか、又はその工夫がなされているか

(1) 3-8 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由 (満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載)

送迎終了後、非常勤職員も含め振り返りを行っています。その日の活動で気がついたこと、気になったこと、とりくみの振り返り、継続的な課題についても共有しています。時間がとれず話し合いが足りなかった時は、翌日や翌週の打ち合わせ時の冒頭に時間を設けて共有漏れがないようにしています。

3-9 日々の発達障害児の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか

(1) 3-9 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由 (満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載)

子どもに関わった、または様子を見ていた職員がその子の個人記録ノートの記入をしています。個人記録ノートは保育の打ち合わせ時や支援計画の作成時、保護者面談時に活用しています。5W1Hを明確にし、保育的な視点、発達的な視点で客観的に記録できるようにしています。食(昼食・おやつ)についての記録は分析しやすいように別ファイルで管理しています。

3-10 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか

(1) 3-10 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由 (満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載)

子どもたちの個々の成長と集団としての成長を考慮したうえで、活動計画を立てています。時間をかけて教材研究をし、とりくみにどう活かすのかを検討しています。打合せや実施後の振り返りで計画が子どもたちのとりくみとして適切でないと判断したときには、軌道修正または取り下げて別の計画を立て直すこともあります。

3-11「厚労省ガイドライン」の総則の「基本活動」(1) (3) ② ア・イ・ウ・エ)を複数組み合わせさせて支援を行っているか

(1) 3-11 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由 (満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載)

意図的に施設内外の基本活動を組み合わせさせて日課を組んでいます。安心、安全な環境を整えたいと、基本的日常生活動作をおろそかにすることなく、社会性を育てることを大きな共通課題とし、それぞれの活動を通して、生きていくために必要な力を育てています。就労を意識したとりくみも多く取り入れています。

【基準3の自己評価と改善・向上方法(将来計画)】

保育実践から導き出した『木子里テラス活動方針』は、国のガイドライン策定以前に作成しました。その内容は、ガイドラインとほぼ合致しています。これは、私たちの考えた活動方針が子どもたちの支援に適切なものであるという裏付けになりました。活動の計画立案や教材研究には長い時間を費やし日々努力しています。きめ細やかな療育的視点を大切にしていきます。保護者からのいただいた情報も含め、SPDCAのサイクルが自然にできるようになることが目標です。3施設合同での実践交流会や子どもたちへの理解を深める研修、振り返りを大切にすることで、保育の質の向上を目指します。

基準 4 関係機関や保護者との連携

4-1 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの発達障害の状況に精通した最もふさわしい者が参画できるようになっているか

(1) 4-1 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

サービス担当者会議には、管理者をはじめ直接支援を行っている指導員が出席しています。会議の内容は他の職員とも共有し、記録を保管しています。当法人で運営している相談支援事業所「木子里ハート」と連携し、こども福祉課の担当ワーカーを含め、日頃から関係を深めている学校の教職員や他事業所の職員など、必要な時にはいつでも声をかけ合えるネットワークができています。

4-2 保護者が許容している場合において、学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか

(1) 4-2 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

学校とは、お迎え時の挨拶にはじまり学校での様子をうかがうなど、連携体制の整備に努めています。学校公開、文化祭、運動会、販売学習など、学校行事の際には可能な限り見学に行っています。学校でのとりくみは、とても勉強になります。所沢市内で、教育と福祉の連携について研究をされている先生とは、ヒアリングやアンケート作成に協力し、子どもたちのために連携しています。

4-3 医療的対応が必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか

(1) 4-3 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

リハビリを行っていた病院の理学療法の先生と面談し引継ぎをしました。副詞用具をつくる際は、採寸の場を提供し協力しました。必要な時に、双方向で連絡を取り合える関係ができています。別のケースでは、保護者に依頼され、新しく通う病院に放課

後等デイサービスでの子どもの様子を伝える報告書を作成し、スムーズに移行できるよう協力しました。食物アレルギーでエピペンを携帯する児童については、面談時に保護者と詳細を確認しています。練習用のエピペンを貸していただき職員の実習も行いました。

4-4 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか

(1) 4-4 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

保護者から個人情報使用同意書を提出していただいた上で、就学前の情報が必要なケースについては、利用開始時から所沢市こども相談センターの相談員やこども福祉課のワーカーと連携しています。

4-5 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの発達障害の支援内容等の情報を提供するなどしているか、又はその態勢ができていますか

(1) 4-5 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

まだ移行のケースは発生していませんが、実習先の職員から指導について相談いただいたケースが1件ありました。来年以降、卒業する児童については、スムーズな移行のために積極的に連携していきたいと考えています。移行後の見守りや励ましなども継続していきたいと考えています。

4-6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか

(1) 4-6 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

児童発達支援センターのスキルアップ研修や発達障害者支援センターの専門研修を受講しています。国立の療育施設や児童発達支援センターの視察研修を行ったことがあります。

4-7 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会を設けることができるか

(1) 4-7 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

地域の公園や児童館、図書館を利用しています。今年の夏休みは当法人が運営する「放課後児童クラブKIRACCO」の子どもたちと一緒にサマーコンサートを楽しみました。合同行事や長期休業中には、高校生ボランティアを受け入れています。思春期の子どもたちが一目おき、あこがれの存在になっています。高校生と一緒に活動することで、普段と違う力を発揮する場面が多く見られます。

4-8(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか

(1) 4-8 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

管理者が、所沢市自立支援協議会こども部会と相談支援部会に出席しています。啓発事業の呼びかけや放課後等デイサービスの質の向上や地域における課題について、問題提起しています。今年協議会が主催するジョブツアーで施設見学者を受け入れる予定です。昨年度、木子里グループで開催した研修のうち2回は、こども部会のネットワークを通し、開催告知をし、法人外からの参加者も募りました。（参加費は資料代実費100円のみ）行政担当課の職員、近隣の放課後等デイサービス職員、児童発達支援事業所職員、特別支援学校教職員など、他機関のみなさんに参加していただきました。地域としての資質の向上に貢献しています。

4-9 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか

(1) 4-9 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

年2回の保護者面談のほかに、連絡帳や送迎時を利用して、家庭での様子、放課後等デイサービスでの様子を共有しています。連絡帳などで知らされた学校でのトラブルや病気などが深刻だと判断したときには、管理者がその日の送迎を担当し、直接保護者のお話を聴き助言、励ましをしています。連絡帳では、その日の活動内容に加え、その日に見つけた子どもたちの小さな成長を丁寧にお伝えしています。

4-10 保護者の発達障害への対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング(P34・P42・P47 参照)等の支援を行っているか

(1) 4-10 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

保育中に職員が実践した成功事例をお知らせしています。面談時などに保護者の言動を否定することはせず、「木子里テラスではこうしていますよ」「今度はこうしてみても？」「こんなことができるかも」と提案しています。同時に子どもたちの良いところをたくさん伝えています。ご家庭で工夫されていることを教えていただくこともあります。日常的に保護者のみなさんのエンパワメントを心がけています。常勤職員はペアトレ実践者研修、SST研修、ABA研修などに参加しています。

【基準4の自己評価と改善・向上方法（将来計画）】

保護者と利用契約時に、関係諸機関との連携は子どもの健やかな成長には不可欠と伝え了解をもらっています。関係諸機関とは良好な連携関係を築くために、日々わずかな時間でも機会を逃さずに働きかけています。行政をはじめ所沢市内の関係機関職員は連携に意欲的な人材が多く、子どもたちの支援について恵まれた地域だと思います。保護者との面談では、お

話を聴き、放課後等デイサービスでの様子を伝えるにとどまり、発達的なアドバイスは十分にできていないケースもあります。職員の学習と経験が保護者のニーズに追いつくようにまだまだ努力が必要です。ペアトレについては行政からも期待されています。申請時講習でメンターの協力を得る、というヒントをいただきました。当施設でも以前一度検討したことがあります。日頃から懇意にしている親の会の中にも適任の方が多数いるので、来年度以降の開催実現を長期目標にしていきます。子育てワンポイントお便りなど、できることから理解を深めるとりくみを始めたいと考えています。

基準 5 保護者への説明責任等

5-1 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか

(1) 5-1 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

契約時に重要事項説明書を説明しています。保育的な活動方針も配布しています。利用が開始してからは、日々の活動の様子を連絡帳やHP、お便りを通してお知らせしています。毎月の利用料は請求時に0円世帯を含め明細を配布しています。別途集金についても明細を発行し、領収書をお渡ししています。

5-2 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか

(1) 5-2 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

保護者の相談については、傾聴、共感、励ましがほとんどですが、まれに教育的に対応することもあります。学校の要求が高く保護者が悩んでいるケースもありますが、批判するのではなく、そこに至るまでに今できることをスモールステップで一緒に確認しています。職員自身が学習と経験を通して身につけた知識を活用しています。伝えるときには、絶対的な話し方は避け、例や提案として伝えています。放課後等デイサービスでの対応についても関わりのヒントになるとときには、成功例を具体的に伝えています。

5-3 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか

(1) 5-3 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

毎年1回、保護者が参加できる活動を企画しています。平成26年度の『木子里カフェ』では子どもたちが店員さんになり、家族をお客さまに招待しました。提供するケーキも子どもたちがつくりました。手づくり体験コーナーも設けました。違う学校の保護者とも話しができてよかった、という感想をいただきました。平成27年度は専門家を講師にお招きして『親子で楽しむパステルアート』を開催しました。庭で採取したさまざまな植物の葉をモチーフに色鮮やかな作品が出来上がりました。活動後おやつの試食会を行いました。急ぎょ開催した材料あてクイズに大人も子どもも楽しく参加していただきました。保護者の方に、「愛情がたくさん入っている」という言葉をいただき職員も元気をもらいました。今年度は、冬休みに保護者の保育参観可能な3施設合同運動会を開催する予定です。

5-4 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか

(1) 5-4 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

これまで多くの要望をうかがっていますが、大きな苦情はありません。内容の大小を問わず、トラブルやミスが発生したときには、単に謝罪するだけではなく、職員間で共有し、発生原因と改善策を明確にして迅速（当日または翌日中）に対応しています。連絡帳や送迎時、電話では失礼なケースについては管理者と関わった職員が直接家庭訪問をして対応しています。どの利用者にも共通の問題についてはお便りを発行しています。

5-5 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか

(1) 5-5 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

「KIKKORI通信」を発行し、夏休みなどの長期学校休業期間のおやつ、ランチワークショップ、活動内容をお知らせしています。また、木育プログラムやデイキャンプなどの大きなとりくみについては、実施の目的や活動内容と緊急時の連絡先などの詳細のお知らせを発行しています。

5-6 個人情報に十分注意しているか

(1) 5-6 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

（株）がくどう舎が定める個人情報に関する指針に基づき管理し、データや個人調書については施錠できるキャビネットに保管しています。

5-7 発達障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか

(1) 5-7 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

保育の現場では、先入観や思い込みではなく、子どもたちの行動の前後の様子からその子の思いを読みとって対応するように心がけています。対応を悩んだケースについては、その子の思いはどうだったのだろう、と振り返りをし、最適な関わり方を検討しています。うまく関われたときにも、ケースを共有するようにしています。保護者については、その保護者が一番対応し易い方法（時間・人・手段など）をとっています。

5-8 事業所の行事(バザー、映画上映、夏祭など)に地域住民を招待するなど地域に開かれた事業運営を図っているか

(1) 5-8 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

毎年4月に開催される『世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間 Tokorozawa』の活動につながるサマーコンサート（入場料無料）を、発達障害児を支援する会・よつばくら

ぶさんと共催で開催しました。ステージは啓発という主旨を良く理解していただいている歌手の松山優太さん（所沢市出身）をお願いをしました。『世界中の子どもたちが』の手話ソングワークショップと花束贈呈では、当施設に通う子どもたちがステージで大活躍しました。当法人が運営する放課後児童クラブKIRACCOの小学生も一緒にコンサートを楽しみました。悪天候にも関わらず、他事業所のみなさんや地域のみなさんが130名以上来場され、みんなの思いがひとつになったコンサートは大成功でした。

【基準5の自己評価と改善・向上方法（将来計画）】

子どもたちとご家族が、見通しをもって楽しく通えるよう、月案を基づく保育の予定を定期的に発行していきます。放課後等デイサービスで起きた出来事については、施設側の責任だと考えています。仲間とのトラブルも内容を伝えると同時に防ぐ環境をつくれなかったことをお詫びしています。事実確認をしっかりと、原因と改善策を合わせてお伝えしています。公園で転んだ子の対応をしたスタッフがリーダーに伝え忘れ、保護者に報告できなかったケースもありました。トラブルのみに限らず、保護者からの問いかけには誠実に向き合うよう、職員の意識を高めていきます。保護者の声が指導員を育てるという考え方を、会議や研修を通して職員に浸透させていきたいと思えます。地域活動について、たくさんの活動を経験を通して、地域交流や啓発活動に意欲的な職員を育成していきます。

基準6 非常時等の対応

6-1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか

(1) 6-1 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

行政作成のマニュアルと一緒に各種マニュアルを策定しファイル後、職員間で周知しています。緊急時の対応について、HP上で保護者も確認することができます。

6-2 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか

(1) 6-2 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

毎月1回、さまざまなケースを想定して避難訓練を実施しています。保育活動としては、非常災害時を意識したとりくみ（ろうそくづくり・非常食体験・緊急時グッズを調べようなど）を実施しています。職員研修として救命講習を消防署で1回、施設に消防署職員を招いて1回とこれまで2回行っています。全職員立ち合いで持ち出し袋の中身の確認をしています。

6-3 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか

(1) 6-3 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由 (満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載)

(株) がくどう舎として、虐待防止対応規程を作成し職員間で内容を共有しています。外部研修では、所沢市自立支援協議会が主催する研修に参加しました。参加できなかった常勤職員には当日の資料を配布し、レポート作成を研修課題にしました。

6-4 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか

(1) 6-4 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由 (満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載)

これまで拘束が必要になるケースはありませんでしたが、(株) がくどう舎として、身体拘束対応規程を作成し職員間で内容を共有しています。身体拘束の検討が必要になった時には規程に基づき対応していきます。

6-5 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか

(1) 6-5 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由 (満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載)

食物アレルギーでエピペンを携帯する児童について、摂取可能な食材情報や薬の情報、発作時の対応について、保護者を介して、医師の指示書に基づいて対応しています。詳細情報について、ファイルを作成し、職員間で共有しています。

6-6 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか

(1) 6-6 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由 (満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載)

毎日の振り返りでも出し合い、保育の記録に記入しています。他施設の事故報告なども共有し、自分たちだったらどう対応できるかを検討しています。

【基準6の自己評価と改善・向上方法 (将来計画)】

ヒヤリハットについて、同じ状況に居合わせても問題意識を持つ職員と持たない職員の差があるケースもあります。日々の振り返りと職員間のコミュニケーションを大切にし、意識を高めていきます。記録については、カテゴリー別にデータ化し、職員研修にも活用していきます。職員の職場環境改善のためのヒヤリハット集も作成していきたいと思えます。

10月17日には、所沢警察署の職員を講師にお招きし、全職員を対象に送迎時の交通安全講習会を開催する予定です。

④施設が保護者目線で評価した基準（A・B・C）と独自の基準による自己評価

基準 A、B、C と独自の基準

A 子ども自身は通所を楽しみにしているか

(1) A の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

家庭ではなかなかとりくめない野外活動（木育活動やデイキャンプなど）を始め、子どもたちが意欲的に参加できる教材や集団あそびを検討して保育計画を立てています。実施後、やってみてどうだったか、ということの評価したうえで、次の活動につなげていきます。仲間との集団生活を楽しく学び、体験できるように工夫しています。おやつづくりもみんな大好きなので「〇〇つくりたい!」という子どもたちから発信されたリクエストにも応え、子どもたちが生活づくりに主体的に関われるよう工夫しています。

B 保護者は事業所の支援に満足しているか

(1) B の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

活動については、ねらいや子どもたちの様子を連絡帳や送り時に伝えています。大きなとりくみについてはお便りを発行して理解を促しています。利用後、家庭に帰ってからの子どもの様子や家族の様子を教えてくれる保護者もいます。偏食の子どもがおやつやランチワークショップなどの活動を通して食べられるようになったケースなど喜んでもらっています。造形活動で持ち帰る作品については予算を惜しまず、完成度をあげ、家庭でも話題にしてもらおうようお願いしています。制作工程での子どもたちの様子を伝え、家族との会話が活動の総仕上げになるような工夫もしています。中高生については、保護者の要望が強い、将来を見据えての活動を組んでいます。評価が高い分、期待も大きく、教材研究には時間をかけていますが、保護者のみなさんにもその努力が伝わり認めていただいています。

C 保護者が活動の様子を自由に見学できるようになっているか

(1) C の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

わが子の様子を見たい、というご要望をいただいた時には、周囲の子どもたちへの配慮をしつつ、見学を受け入れています。また、とりくみを通して保育参観できる日も設定しています。

D 中学生の活動が充実しているか

(1) D の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

土曜日（不定期）を利用して中学生プログラムを実施しています。小学生と一緒に短い放課後の活動に比較して自由度をあげていますが、責任も重く厳しい内容を設定しています。事前学習を含め、話し合いを大切にしています。実施後は、振り返りシートや写真を添えて保護者にも活動報告をしています。テーブルマナーレストランランチ、羊の毛刈り体験、木育活動＋BBQ、お好み焼き昼食会、特別支援学校の夏祭りに出店など余暇支援以上のねらいをもって実施しています。今後は、中学3年生の進路指導として高等部への自力通学体験など検討しています。

E 野外活動を導入しているか

(1) E の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

施設周辺は、自然に恵まれ、アスレチックのある公園も多くあります。活動時間に合わせてあそぶ公園を決めています。子どもたちの体調にも配慮しながら、室内のとりくみと野外活動をバランス良く取り入れています。公園では個別のあそびと鬼ごっこなどルールのあるあそびをしています。春休みには、石窯でピザをつくる野外調理活動をしました。

F 自然体験活動を導入しているか

(1) F の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

毎年夏休みにデイキャンプを実施しています。野外レク、川あそび、野外調理をプログラムに取り入れています。当施設は埼玉県のごどもエコクラブに登録しています。今年の夏休みのデイキャンプでは、中学生がごみの分別について小学生に教える「エコクイズ」を担当しました。今年度は、春休みから木育プログラム『みんなの木』にとりくんでいます。飯能市にある工房と連携し、中学生プログラムも合同で、子どもたちとひのきを1本間伐する体験をしました。みんなの木のとりくみは、1年を通して数回にわけて計画的に実施しています。造形活動でも自然素材を大切にしています。『みんなの木』の成果は大きく、心を揺さぶる体験は、集中力を発揮する良い場面につながり、興味関心とその後の活動にも持続しています。

G 食育活動・農園芸活動を導入しているか

(1) G の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

木育と同様に、食育にもとりくんでいます。梅干しづくりは恒例になり、今年は梅干しが

苦手な中学生と一緒にきゅうりの浅漬けに梅干しを使用する一品を考えました。庭の畑は石を拾い、土づくりからとりくみ、おいしい野菜を育てています。収穫した野菜は、おやつやランチワークショップの食材になります。お土産で家庭に持ち帰ることもあり、家庭の食卓の様子なども共有しています。偏食の強い子どもたちも、自ら育てた野菜をなかまと一緒に食べる環境の中で受け入れられケースが多く見られます。野菜だけでなく、季節の草花の栽培にもとりくんでいます。夏はこどもエコクラブから取り寄せたへちまの種をまきグリーンカーテンをつくっています。大きなへちまは造形など、その他の活動にもつながります。

H 地域活動をしているか

(1) H の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

2014年・2015年に『所沢市発達障害啓発週間』に市役所ロビーに啓発パネルを作成し展示しました。同じ時期に開催する『ライトイットアップブルー所沢実行委員会』のメンバーとして啓発事業に積極的に参加しています。今年度は、職員が担当したあかりのオブジェと子どもたちの作品が会場を盛り上げました。今年の夏休みには、公民館ホールで、発達障害をかんがえる会・よつばくらぶさんと共催で、来年度のライトイットアップブルーにつながるサマーコンサートを入場無料で開催しました。当日は、子どもたちがステージで活躍する場面もあり、関係者と地域のみなさんを合わせて130名を超えるみなさんにお越しいただき大成功でした。

※以降必要に応じて発達障害に配慮し対応している項目を独自の基準としてD以降(D,E,F・・・)に追加してください。例えば、①観察カメラの設置、②デイサービス向上のための証跡記録の保存体制の整備、③野外活動の導入、④医療スタッフの配置等発達障害に対応する項目について記載してください。特別記載する事項がない場合は、Dに関しては項目として削除しても構いません。